Legalization of Surrogacy and Agent Management in NY State

NY 州での代理出産合法化とエージェント経営

Interviewee

Mr. Jarret Zafran, Gay Dad

Q. 自己紹介をお願いします。

ニューヨークを拠点とする代理出産エージェンシーBrownstone Surrogacy の創設者兼エグゼクティブ・ディレクターをしている。弁護士資格を持っている。夫とともに、代理出産で生まれた 2 人の娘の父親である。長女は 4 歳、次女は 1 歳半になる。

Q. Brownstone Surrogacy について教えてください。数ある代理出産エージェントの中で、どのような特色がありますか? エージェント間での競争は激しいですか?

他のアメリカの代理出産エージェントと同様に、Brownstone Surrogacy もアメリカ生殖医学会のガイドラインに従っている。また、代理母と依頼親のマッチングやスクリーニングにおいて、ベストプラクティスに従うことを誓っている。

Brownstone Surrogacy と他のエージェントとの主な違いは以下の通り：

- よりパーソナルなアプローチ:自分と夫は、家族を作る際に、大きなエージェントと仕事をした。全体的には問題なかったが、エージェントが自分や代理母を本当にわかっていないように感じた。代理母は、エージェントから一律の人間味のないサポートを受け、少しよそよそしく感じた。Brownstone Surrogacy では、全ての関係者を理解し、プロセスを有機的に導くことを心がけている。
- 高い倫理基準: ニューヨークの法律はユニークで、州内で活動するエージェントはニューヨーク州保健委員会の認可を受ける必要がある。さらに、利益相反を避けるため、代理母と依頼者それぞれの代理人は独立した弁護士でなければならない。また、身体の自律性、医療基準、支払いを管理するための独立したエスクローなどに関する要件もあり、ニューヨーク州では、ベストプラクティスを法律の中に定義していることになる。自分は弁護士であるので、この法的構造と倫理的責任に特に敏感であり、自分のエージェントにおいて最高水準を維持することに全力を注いでいる。

アメリカでは州によって法律が異なる。ニューヨーク州は、長男が 2021 年に誕生した 3 週間後に、補償付きの代理出産を合法化した。それまではニューヨーク州では禁止されていたため、長男の代理出産はすべて州外で行われた。この法改正は、10 年にわたる献身的なアドボカシー活動の末に実現した大きな成果であり、翌年には施行された。

自分たちの代理出産の経験を振り返り、自分は法律事務所での仕事を辞め、エージェントを立ち上げることを決意した。現在、代理出産の全過程において、約 60 組の依頼親（カップルや個人）と仕事をし、約 30 人の代理母の候補者と積極的にコミュニケーションをとっている。代理母の側から見ると、代理母を必要とする依頼親を見つけるのは非常に簡単である。エージェン

トの側から見ると、マーケティングをしていないにもかかわらず、かなり早い時期から紹介を受けるようになり、待ち時間を管理するために何度も新規のクライアントの受け入れを中止せざるを得なかった。しかし、依頼者の側から見ると、代理母になりたい人を見つけるのは難しい。もし、その女性の生活が完全に安定していないのであれば、代理母になるのに適切な時期とは言えない。さらに、Brownstone Surrogacy は、パンデミックの影響で多くの代理母候補者が代理出産から遠ざかっている中、最悪のタイミングで市場に参入した。

Q. ゲイカップルの中で、代理出産で父親になる人々は、どのような位置にありますか? ゲイコミュニティの中ではマイノリティでしょうか?

それは急速に変化している。ほとんどのゲイ男性カップルにとって、親になることは比較的新しい検討事項だ。数十年前にも先駆者はいたが、ゲイカップルにとって大人になるという考えの中に親になることは含まれていなかった。今では異性愛者のカップルを反映するようになったが、ロジスティックや経済的なハードルは大きい。

ゲイカップルやシングルが時間的制約を考慮し、子育てを先送りすることが一般的になってきたと考えている。ゲイとして親になるのはまだ少数派の立場だろうが、その実践は広く受け入れられ、コミュニティでも認知されている。親になる道筋をナビゲートする組織（Gays With Kids や Men Having Babies など）も登場している

Q. 子供には話していますか? 話していない場合、これからどのように話すか、パートナーと準備したり話し合いをしていますか?

初日から長女にオープンだった。卵子ドナーの写真を見せたり、子供向けの本を使ったりしてプロセスをわかりやすく説明している。長女は代理母のジェニーに会い、現在も連絡を取り合っている。彼女はまだ代理出産について完全に理解しているわけではないが、将来彼女が関係を希望したとき、その扉が開いていることを確認したいのだ。

末娘はまだ 1 歳半で、何も知らない。

Q. 卵子ドナーや代理母は、「母親」ではないとすれば、それぞれどのような存在でしょうか?

自分の家族では、ドナーのことを「卵子ドナー（egg donor）」と呼んでいる。「母親（mother）」と呼ぶのはおかしい。自分の考えでは、「母親（mother）」や「父親（father）」は子育てに積極的な役割を果たす人物だと考えている。「バイオマム（biomom）」や「生物学的母親（biological mother）」などの用語の方が適切かもしれないが、代理出産の場合、「母親」は正確な表現ではないと感じている。

ドナーからの出生者のコミュニティは、この 10 年間で声を上げてきた。遺伝学は重要であり、用語を変更することは正しくないと主張する人もいる。しかしながら、自分は "ドナー "という用語をデフォルトとしている。

Q.「卵子ドナーや代理母は母親ではない」、「母親はいない」や「父親が二人」など、説明する際、言葉の問題は重要ですか? 二人の父親をそれぞれどのように呼びますか?

自分と夫は当初、自分たちの呼び名を長女に任せるというミスを犯した。長女は自分たちが使っている言葉を真似て、夫を

エリオットと呼び、自分を "もう一人のパパ "と呼ぶようになった。だから自分たちは、2 人の間で、それぞれを「dad」「daddy」と呼ぶことに決めた。長女はすぐにこの呼び方を採用し、今ではこの 2 つを混同する者がいれば、訂正している。

Q. 代理出産後の卵子ドナーや代理母とはどのように付き合うべきですか? 適度な距離は必要でしょうか?

二人の代理母を使った。1 人目の代理母は、エージェントを通して紹介されたのではなく、直接知り合った女性。自分たちは、代理母とも卵子ドナーとも連絡を取り合っている。依頼者は、卵子ドナーよりも代理母と近しい関係をもつことが多い。それは、代理出産のプロセスが、ほぼ 1 年間定期的に連絡を取り合うという事実があるから。

ドナー側としては、それはより目的を持ったものである。自分は、ドナーとの関係をよりオープンにすることを選んでよかったと思っている。ドナーの名前も知っていたし、採卵前に簡単に会うこともできた。当初はすべてエージェントが仲介してくれたが、長女が 2 歳になる頃、医学的な最新情報を提供したり、写真などを共有したりするためには、直接連絡を取り合う方がいいと考えた。彼らはエージェントを通じてこの手配を依頼するメールを送り、ありがたいことにドナーはそれを受け入れてくれた。当初から彼女は親密な関係を望んでいないようだったので、自分たちはそれを尊重したが、今ではメールアドレスも知っているし、必要があれば直接連絡を取ることもできる。

Brownstone Surrogacy の場合、受精卵を作っておらず、ドナーを探している人が自分のところに来た場合、子供が大人になり、自分の出自について疑問を持つようになることを話す。現在だけでなく、今後何十年にもわたって納得のいく選択ができるよう手助けするのだ。凍結卵子や、クリニックにプールされた卵子や、第三者機関の卵子など、利用できるプログラムはたくさんある。そして、依頼親たちがプロセスの早い段階でどのような選択をするかによって、将来どのような関係を築くことができるかが大きく変わってくる。商業的な遺伝子検査が存在するにもかかわらず、匿名やアイデンティティを特定できないドナーを推す人もいる。匿名の選択肢は短期的には簡単かもしれないが、自分は依頼親に、子供にとって何が最善かを本当に考える選択肢を与えたいと考えている。

依頼親の中には、いまだに凍結配偶子を選び、ドナーとの関係を求めなかったり、特に重要視したりしない人もいる、その一方で、ドナーが親族であったり、親族から提供された受精卵を使用したりするなどのケースもある。クライアントは多様な選択をしているが、クライアントが選択肢とその影響を十分に考慮したことを確認したいと考えている。

子供は自分の生い立ちを知るべきであり、それを隠しておくべきではないと強く信じているため、やや偏ったアプローチを採用していることを認めている。そのため、依頼親にはオープンであること、そしてその情報を早い段階で子供に開示することを勧めている。

Q. 先日、ポリアモリーのゲイの父親なインタビューしましたが、このような家族は今後増えるでしょうか? NY 州で、3 人の父親が法律上、子供の親権や監護権を得ることは可能でしょうか?

ブルックリンの夫婦から連絡を受けたことがある。相談の中で、彼らは日比野が

2024年3月インタビューを実施したカリフォルニアの夫婦のことを話していた。カリフォルニア州とは対照的に、ニューヨーク州の法的手続きは、2 人以上の親に親権を認めるようには設定されていない。この夫婦は弁護士に事情を聞いたが、出生証明書に3人の名前を記載するのは難しいようだ。アメリカには、2 人以上の親に対する親権命令が可能な州が 10〜15 州あるが、ニューヨーク州法では現在、この制限がハードコーディングされている。このポリアモリーのカップルと何度も話をしたが、まだプロセスには進んでいない。彼らは時間がないのだろう。だから、自分の代わりに別の機関に援助を求めたのかもしれない。

Q. NY 州で、compensated surrogacy が近年、合法化されましたが、どのような政治的プロセスがありましたか?

この法案は、代理出産を扱ったことのある弁護士グループによって起草された。そして、代理出産を個人的に経験したことのある議員と下院議員に法案への賛同を求めた。その結果、代理出産のプロセスは過去のやり方から変化し、現在では多くの関係者（弁護士、医師、エスクロー機関など）が関与する形が主流となっていることが認識された。現在では、代理出産はより専門的なプロセスであり、代理母は十分な情報を与えられ、適切な報酬が支払われる。それは、搾取という主張がいくぶんパターナリスティクになったことを意味する。現代の代理出産の慣行について人々を教育するのに何年もかかり、法律が成立するまでに約10年かかった。

法改正に反対する人たちもいた。特に、カトリック教会と一部のフェミニストたちが新法に反対していた。搾取を避けることが重要であるという考え方は尊重するが、搾取反対を主な主張とすることは、代理母になりたい女性自身にとっても、代理出産を希望するカップルにとっても、本末転倒であると感じている。代理母たちは力を持ち、教育を受け、しっかりと中流階級に属している。

ミシガン州は、代理出産を禁止している最後の州であるが、現在、代理出産を合法化する法案が可決されようとしている。ミシガン州は、新しい法案を作成する際にニューヨーク州から学んだ。

Q. 男らしさと子育ては、両立しますか? どのように考えていますか?

男らしさという概念と危うい関係にはない。子供たちの世話をすることが反男性的だとは思わない。ゲイである時点で、男らしさや子育ての主流の概念からすでに外れているのだから。

ケアについての家族や周囲の反応は、何らかの形でジェンダー規範を反映する傾向があることを認める。夫は現在、肩の怪我のリハビリのために3週間ミネソタ州にいる。カップルで子育てをすることに慣れていると、一人で子育てをするのは難しいので、自分は家族や友人から、どうしているかと何度もメッセージをもらっている。自分が同じ立場の女性だったら、助けが必要かどうかを心配する人はもっと少なかっただろうと考えている。たとえば、妹が同じ状況にいたら、母親から「殉教者になるな」「弟が助けてくれる」というようなメールを受け取ることはなかっただろう。

Q. お知り合いのゲイカップルで、育児の分担のスタイルの例を教えてください。どちらかが仕事を減らしたり、辞めたりしますか?

自分と夫は、男性のゲイカップルに「デフォルトの」性別役割分担はないという事実を強く意識している。自分たちに合うものを見つけ、責任の分担を明確にしている。たとえば、自分は食事の支度を担当し、夫は洗濯を担当する。朝、子どもたちを保育園や幼稚園に送り届けるのも夫。常に半々というわけではないが、2 人は協力して子育てに取り組んでいる。ふたりともフルタイムで働き、共働きで平等な両親だ。自分はエージェントを立ち上げ、より柔軟な仕事に就いた。

異性間のカップルも、できることなら仕事を分担することについてオープンに話し合うべきだと考えている。

Q. これからどんな活動をしていきたいですか。子供には将来、どんな人間になって欲しいですか?

そこまで先を見ていない。ゆっくりと着実にエージェントを立ち上げている。代理出産のスケジュールは長いので、3 年経った今でもエージェントは発展途上だと感じている。持続的に成長し、クライアントと代理出産のために良いビジネスをしたいと願っている。

自分と夫はニューヨークに残ることを決め、娘たちを幸せで優しい人間に育てたいと願っている。

(2023 年 3 月)

Mr. Jarret Zafran

ニューヨークを拠点とする代理出産エージェントの Brownstone Surrogacy の創設者兼エグゼクティブ・ディレクターをしている。ハーバード大学で学士号、ニューヨーク大学ロースクールで法学博士号を取得しており、弁護士でもある。
夫とともに、代理出産で生まれた 2 人の娘の父親である。

Brownstone Surrogacy
https://brownstonesurrogacy.com/